

株式会社地熱染色研究所

2024(令和6)年10月現在

◆八幡平地熱蒸気染色とは

日本で初めて成功した八幡平での地熱発電など豊富な地熱エネルギーを活かし、地熱蒸気による染色法を研究した結果、「ジオカラー」と呼ばれる美しいグラデーションが織りなす染物が誕生し、今では八幡平を代表する芸術となっています。

◆学びと体験のおすすめポイント

- ★エネルギーの有効活用を考えるきっかけになる。
- ★環境は特定分野の狭い話ではなく、自然エネルギーを活用して様々な産業への広がりがあることに気付くきっかけになる。

◆受入概要

実施時期	通年（土・日は要相談）
受入時間	9：00～17：00（要相談）
所要時間	90分～120分（調整可能）
料 金	（一例） 貸切体験コース（10名以上） ハンカチ・ミニスカーフ各1枚 3,850円 学生対象コース（10名以上） ミニスカーフ1枚 2,750円
備 考	・自然の蒸気を利用するため、気象条件等によって催行不可の場合がありますので、予めご了承ください。 ・完成品の受け渡し方法は、別途相談となります。 （基本的に、お土産としてお持ち帰り頂けます。）

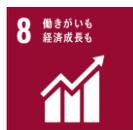


◆問合せ先

株式会社地熱染色研究所
〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木松川国有林 559 林班ヲ小班
TEL：0195-78-2451 FAX：0195-78-3240
Mail：geocolor.hachimantai@gmail.com
HP：https://www.geo-color.com/



◆体験できる SDGs



地熱を染色に活用するという、新たな自然エネルギーの活用方法を体験するとともに、地熱は多様な産業につながる可能性があることを実感できます。

◆歴史的背景

旧松尾村が八幡平の秘湯・松川温泉の観光開発のため温泉井戸を掘ったところ、高温の地熱蒸気が噴出しました。さらに旧松尾村はこの地熱蒸気を利用してた産業を興すため、染色への利用を試みたのです。しかし、既存の染色技法では商品化までたどり着きませんでした。1981年旧松尾村より、染色装置の開発および染色装置の譲渡を受け、現染作家高橋陽子が岩手県工業技術センター特産工業部とともに、基本的な地熱染色の技法を確立しました。

研究開発から携わった染色作家高橋陽子、そして息子である高橋一行の2名を中心に、さらなる染色技法の開発を進め、綿素材のハンカチや巾着袋といった小物の商品化に成功しました。

年次	研究所の沿革
1981 (昭和 56) 年	・旧松尾村より、染色装置の開発権および染色装置の譲渡を受ける (松川温泉観光株式会社染色部)
1989 (平成元) 年	・前記株式会社より染色部の分離、第三セクターで株式会社地熱染色研究所設立
1990 (平成 2) 年	・技術開発支援補助事業により染色装置開発と幅広生地の染色法の研究開始
1994 (平成 6) 年	・社屋・工房建設、工房夢蒸染 (こうぼう むじょうせん) 設立

◆こだわり 八幡平×デザイン

工房は八幡平特有の豊かな大自然の中にあります。一步外に出ると、大自然が見せる四季折々の色彩の変化にあふれています。染色家が暮らしているのは、八幡平松川温泉です。自然に根ざした生活環境は豊かな色にあふれています。染色家は、その自然界の色彩からインスピレーションを得てデザイン、配色を考えるのです。

八幡平の紅葉を表現した作品は地熱染めの代表的なカラーの一つで人気があります。春の淡く明るいイメージも優しさに溢れたグラデーションで魅力的です。この地に生きる者が感じる色の世界を、この地の地熱蒸気だからできる染色技術で、布に表現することをモットーにしています。

また、布の風合いによってもイメージがかわったり、高温の地熱蒸気や染料との相性もあるため、作家自らが素材を厳選しています。当社が生地の持ち込み染色をお請けしていない理由の1つでもあります。

